

福岡整振チームが3回目の優勝

常岡さん谷口さん 2度目の挑戦で頂点に

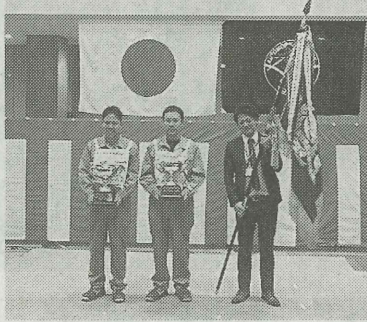
日本自動車整備振興会連合会（日整連、橋本一豊会長）が10日に開催した「第20回 全日本自動車整備技能競技大会」で、福岡県自動車整備振興会チーム（常岡兼次選手、谷口修平選手）が9大会ぶり3度目の総合優勝を果たした。競技では1000点満点中970点の堂々たる好成绩をおさめて、全国から集結した精鋭たちの頂点に立った。

福岡整振チームの西鉄エムテック福岡工場の常岡さん、藤壺自動車工業の谷口さんの両選手は、昨年、福岡整振が開催した支部対抗の技能競技大会を2大会連続で制して、2度目の全国大会への切符をつかんだ。2人が所属する同整振の粕屋支部や教育部の熱いバックアップのもと、訓練を積み重ねて大会へ挑んだ。大会当日は「訓練してきたことが

そのまま生かされた」（常岡選手）とこれまでの努力が結実。2度目の出場とあって「競技に集中できた」（谷口選手）ことも、体得してきた技術力を余すことなく発揮することにつながった。

大会を終えて常岡選手は「優勝できたことは運命というか、タイミン

20回 全日本自動車整備技能



表彰式。左から常岡選手、谷口選手、富安監督

訓練積んだ成果出た

グに恵まれただけ。ただ優勝して気が引き締まった。今後はどんな仕事にもチャレンジしながら、会社の後輩を引っ張っていけるように、能力を磨いていきたい」と話す。谷口選手は「メカニックはお客様に納得してもらえる修理ができた時は凄く達成感を得られる仕事。これからも日々勉強していくことで、これまで以上にお客様に喜んでもらえる仕事ができるようになりたい」と語る。

粕屋支部は2度目

優勝選手を輩出した同整振粕屋支部。福岡県チームの過去3度の優勝のうち2回は粕屋支部からと、同支部では会員の技術力向上に格段の力を注いでいる。上野章弘粕屋支部長は「県大会では2連覇を成し遂げて、今回、全国優勝も果たせた。現

これからも日々勉強

在、青年部が中心となり、次大会に向けた選手選考を行っているところ。まずは県大会で連覇を目指していく」と力を込める。

23日には両選手、富安祐一郎監督をはじめ上野支部長、同整振の金山秀行副会長らが福岡運輸支局を表敬訪問して、西正博支局長に優勝報告を行った。西支局長は「全国優勝は狙っていてもなかなか取れない場所。福岡県の業界、各方面にとって非常に朗報だ」と選手らをたたえた。



福岡運輸支局を表敬訪問、西支局長に全国優勝を報告